

# ～ 手技に関する統一のルール ～

吸入手技に関してばらつきのある部分に関して、以下に統一します。

ただし、患者個々の状態に応じて、適切に変更は可能です。

- pMDIは、吸入前に、全て振る
- pMDIは原則、クローズドマウス
- pMDIの息止めは3～5 秒
- 喘息における、SABAレスキューの間隔は20 分
- 喘息における、SABAレスキュー3 回で改善なければ病院へ
- 喘息における、SABAレスキュー1日の使用上限は4 回
- タービュヘイラーの息止めを、する
- タービュヘイラーの息止め時間は3～5 秒
- シムビコートSMART療法で屯用使用の間隔は20 分
- レスピマットのカートリッジ充填を行うのは、薬局
- レスピマットの息止めは3～5 秒
- レスピマットをスパーサーを使用することを、説明しない
- すべての薬剤でうがい、指導する
- 経鼻呼出を、説明しない（医師の指示があれば説明する）
- COPDにアシストユースでは、労作の15～20分前に吸入する
- COPDにアシストユースでは、1日の使用上限は4 回

# 統一依頼箋の使用方法

## ＜病院・診療所→薬局の場合＞

1. 吸入指導依頼書は医師（および依頼側スタッフ）が記入する。
2. 医師は署名を必ず行う。
3. 依頼書は病院、診療所が発行し、可能であれば患者に吸入薬指導加算の算定について説明、同意を得る。
4. 依頼書を患者に渡し、患者は調剤薬局へ処方箋と共に依頼書を薬局で提示する。
5. 依頼書を受け取った薬局は吸入指導を行う。
6. 薬剤師は報告書を作成、署名を行う。
7. 依頼施設へ依頼書・報告書をFaxする。
8. 原本は薬局が保存する。

## ＜薬局→病院・診療所の場合＞

1. 薬局において、薬剤師が必要と判断し患者から同意が得られた場合、または患者が希望した場合、患者に吸入薬指導管理加算の算定について説明、同意を得る。
2. 薬局は吸入指導を行う。
3. 薬剤師は報告書を作成、署名を行う。
4. 依頼施設へ依頼書・報告書を郵送する。
5. 処方医は報告書を確認する。
6. 医師は依頼書に記入・署名し、薬局へFaxする。
7. 原本は病院・診療所が保存する。

見本

## 吸入指導依頼書 (エリプタ)

テリルジー  レルベア  アニユイティ  アノー  エンクラッセ

用法用量は処方箋の通り  
吸入指導を依頼します。

処方医コメント

症状安定していますが、  
1年ぶりに操作確認をお願いします

処方施設：〇〇クリニック  
TEL (0586)xx-xxxx, Fax xx-xxxx  
処方施設ID： 99999

依頼日： 2024 年 2 月 3 日  
診断名：  喘息  COPD  気管支炎  
区分：  初回指導  再指導

患者氏名： 織田 信長

処方医： 徳川 家康

署名

\*\*\*\*\* 吸入薬が処方された方へ \*\*\*\*\*

吸入薬の効果を十分に引き出すためには、正しい吸入手技が必要です。そのために薬剤師が吸入薬に関する説明と使い方指導を行います。薬剤師からの指導については健康保険での算定が認められており、3割負担の方は90円、1割負担の方は30円がかかります。私は、上記吸入薬の使用方法について、薬剤師による指導を受けることに同意します。

患者署名

ご署名： 織田 信長

## 吸入指導報告書 (エリプタ)

評価は○・△・×

評価

①用法・用量が言える

○

②残数を確認できる

○

③カバーを上にして保持する

○

④カバーをカチッと音がするまであける

○

⑤無理をしない程度に息吐きをする

△→○

⑥吸気孔を塞がないように吸入口をくわえる

○

⑦強く深く吸入する

○

⑧口を閉じて3～5秒間息止め

×→○

⑨ゆっくり息を吐く

○

⑩キャップをしめて保管

○

⑪うがいをする

○

指導日： 2024 年 2 月 3 日

薬局名：○△薬局  店

TEL：(xxx)xx-xxxx

Fax：(xxx)xx-xxxx

指導者： 豊臣 秀吉

署名

報告・コメント

問題なく吸入できます  
 以下の点に不安あり  
 吸入不可、処方変更必要

必ずどれかにチェック

息吐きと息止めが不  
十分だったので修正  
しました

# 吸入指導時の注意点

## 全てのデバイス共通のエラー

- ✓ 薬剤の残数・残量が確認できない
- ✓ 吸入前の息吐きができていない
- ✓ 吸入後の息止めができていない
- ✓ 吸入後にうがいをしていない

## エリプタ

ドライパウダー製剤であり、強く速く吸入が基本  
以下のエラーに注意

- ✓ 吸入口に向けて息吐きをする
- ✓ 吸気孔を唇、指で塞いでいる
- ✓ 口元に隙間があり、吸気が弱くなる

## タービュヘイラー

ドライパウダー製剤、全デバイス中最も強く速く吸入が必要  
操作手技もやや複雑  
以下のエラーに注意

- ✓ 毎回空うちを行う
- ✓ デバイスを横に寝かせて回転する
- ✓ カチツではなく、クルツで吸入する
- ✓ 下部の回転グリップではなくマウスピースを回転させる
- ✓ 吸入口に向けて息吐きをする
- ✓ 吸気孔を指で塞いでいる
- ✓ 吸気が弱い（特に女性の場合注意！）
- ✓ クルツカチツを2回連続して行ってから吸入する
- ✓ 薬がなくなっても使用し続ける

## ブリーズヘラー

ドライパウダー製剤だが、強く吸いすぎないように  
以下のエラーに注意

- ✓ 吸入口に向けて息吐きをする
- ✓ 吸気孔を唇、指で塞いでいる
- ✓ ボタンを押したまま吸入する
- ✓ ボタンを何回も押して吸入する
- ✓ カラカラ音がしない
- ✓ カプセル廃棄時に手で触れる

## pMDI

ゆっくり深く吸入が基本

以下のエラーに注意

- ✓ 上下逆に持つ
- ✓ 吸入前に振らない
- ✓ キャップを付けたまま吸おうとする
- ✓ ボンベが上手く押せない
- ✓ 薬剤の噴霧と吸気と同調が上手くできない
- ✓ エアロスフィアは定期的に洗浄が必要

## レスピマット

ゆっくり深く吸入が基本

以下のエラーに注意

- ✓ キャップを外したまま回転させる
- ✓ 薬剤の噴霧と吸気と同調が上手くできない
- ✓ 2吸入目を行わない

## よくある質問

Q.吸入薬の副作用はありますか？

A.吸入ステロイド薬は、内服や注射薬のステロイド薬のように全身投与を行って、その一部が肺にも届くというのではなく、喘息の患部である気道に直接届きます。そのため、使用量自体が少なく、副作用も少なくて済みます。ただし、使用後にうがいなどを行わないと、口腔内に薬剤が付着したままになり、のどの痛みや口腔内カンジダ、声がれの副作用が起きやすくなります。気管支拡張薬には動悸、振戦（手足のふるえ）、頭痛、吐き気、発疹などの副作用があります。しばらくすると治まりますが、担当の医師または薬剤師に相談して下さい。

Q.うがいはどの程度すればよいのでしょうか？

A.特に定まってはいませんが、ステロイド薬配合薬の場合は副作用防止のため必ず行って下さい。

①吸入前になるべく口を湿らせ、吸入後には適量の水（20mL程度）で10秒程度を2回（例えばがらがらを5秒、くちゆくちゆを5秒）うがいして下さい。うがいの後に水を一杯飲みこむこともお勧めします。

②外出先でうがいが出来ない場合には、唾液を飲み込まず、口の中を洗うようにして3回ぐらいティッシュに取って下さい。

Q.使い終わった容器はどのように捨てたらいいですか？

A.一般ごみ（一般廃棄物）と同様の扱いになります。

外側の容器はプラスチック製で、内部にはアルミシートが入っています。分解せずに地方自治体により定められた廃棄物処理法に従い、廃棄してください。